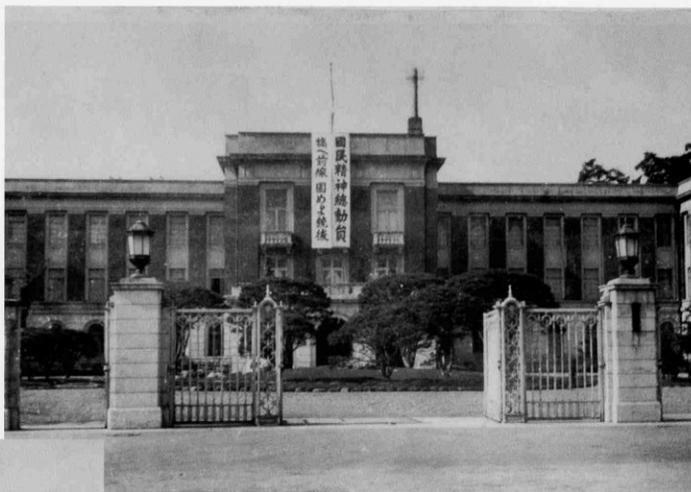
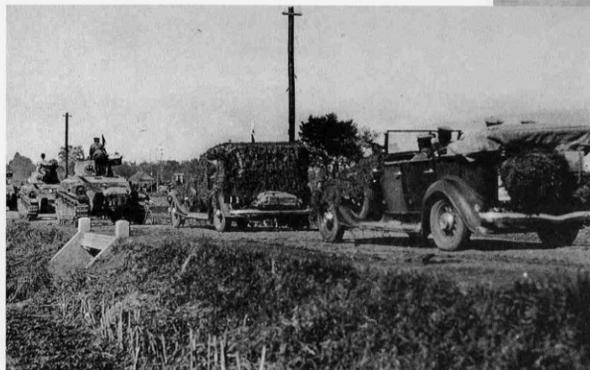


下は、昭和9年（1934）11月に群馬県を中心に栃木・埼玉の3県にまたがって実施された陸軍特別大演習の写真です。主として、兵力の編成を異にする大兵団の機動作戦と夜間における行動を重点に3日間にわたって実施されました。

（参考資料）『群馬県史』通史編7 628～641頁



上は、群馬県庁（現昭和田舎）に張られた垂れ幕の光景です。「国民精神総動員」「戦へ前線 固めよ銃後」の言葉が見えます。国民精神総動員運動は、昭和12年（1937）日中戦争に国民を動員するため国により実施された国民運動で、「挙国一致・尽忠愛国・堅忍持久」の三大スローガンのもとに開始されました。

（参考資料）『群馬県史』通史編7 641～657頁